

News Release

パーソルキャリア、転職サービス「doda」を支える基幹業務データベースをハイブリッド・クラウド構成へ移行

「Oracle Cloud Infrastructure(OCI)」へのパブリック・クラウド移行を見据えて、本番環境を「Oracle Exadata Cloud@Customer」で、DR 環境を OCI 上の「Oracle Exadata Cloud Service」で稼働開始

2021 年 11 月 17 日

日本オラクル株式会社（本社：東京都港区、取締役 執行役 社長：三澤 智光）と株式会社アシスト（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：大塚 辰男）は本日、パーソルキャリア株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：峯尾 太郎）が、業界最大級の登録者数を擁する転職サービス「doda」を支える基幹業務データベースを「Oracle Exadata Cloud@Customer」および「Oracle Cloud Infrastructure（OCI）」上で提供される「Oracle Exadata Cloud Service」で構成するハイブリッド・クラウド環境で稼働開始したことを発表します。パーソルキャリアは、2022 年 10 月に当該データベースの東京、大阪の「Oracle Cloud」リージョンで提供される「Oracle Exadata Cloud Service」を活用したパブリック・クラウド環境への移行を予定しています。

パーソルグループでは、革新的な IT 環境の維持、アジリティ向上、コスト最適化、システムのリスク分散を目的とし、既存システムのクラウド化を推進しています。パーソルキャリアが展開する転職サービス「doda」の基幹データベースは、これまで本番環境はオンプレミスの「Oracle Exadata」上で、開発および性能検証環境は「Oracle Exadata Cloud@Customer」上で稼働してきました。はたらく人の多様な未来を支援するためのサービスである「doda」は、654 万人の累計登録者（2021 年 10 月現在）を擁し、転職サイト、エージェントサービス、転職イベントなどの多彩なサービスを提供しており、登録者の増加、新規サービスやサービス拡大など、年々その事業を拡大しています。同社は今回、オンプレミス環境のシステム更改に際し、将来的な事業拡大に伴う変化に対応可能な柔軟な基盤の構築およびコスト最適化を目的に、クラウド移行を検討しました。複数案を比較検討した結果、低コストで既存のデータベース基盤と同等またはそれ以上の性能を実現可能な「Oracle Exadata Cloud Service」を選定しました。

一方で、ミッション・クリティカルな大規模基幹データベースのパブリック・クラウド化は初めてとなるため、本番環境をクラウドで運用していく体制やノウハウを蓄積しながら、段階的なクラウド化を進めていきたいという意向がありました。そこで、パーソルキャリアでは、第 1 フェーズとして、これまで開発環境として利用してきた「Oracle Exadata Cloud@Customer」を本番環境とし、DR 環境として「Oracle Exadata Cloud Service」、開発検証環境には「Oracle Exadata Cloud Service」と「Oracle Database Cloud」を活用するハイブリッド・クラウド構成に移行することを決定しました。

パーソルキャリアでは、従前システムからハイブリッド・クラウド環境への移行により、ハードウェアの性能向上および SQL チューニングを行うことで、20%ものリソースを削減しながらも同等以上の性能を実現しています。移行後は、現場でもシステム移行を感じさせない従前環境と同様の利用感を維持しながら、高い性能により安定性が向上し、レスポンスタイムや遅延などの月次の問合せ件数が減少しています。また、「Oracle Exadata Cloud@Customer」は、自社データセンターに配置しながらも、オラクルがリモートで運用管理を行うため、運用管理負荷やコストも削減しています。DR 環境も、パブリック・クラウドへ移行することで、平

常時に 8 分の 1 までリソースを低減し、必要な際は無停止でリソースを増減することで、システム全体としてのコストの最適化を図っています。さらに、開発環境では、「Oracle Database」の多様な機能が従量課金で利用可能なため、テスト機能である「Real Application Testing」を活用し、開発、検証の効率化を図っています。

なお、今回のシステム導入、構築、データ移行、運用支援は、株式会社アシストが行い、「Oracle Exadata Cloud Service」への本番環境移行に向けた検証も支援しています。

パーソルキャリアでは、第 2 フェーズとして、「Oracle Cloud」東京、大阪リージョンの「Oracle Exadata Cloud Service」への本番環境の移行の検証を進めています。また、「OCI」で提供されるサービスを活用した保有データの利活用も検討しています。

本発表に向けたお客様からのコメント：

「基幹データベースのクラウド化には、システムを止めてはいけな、運用の変更への対応など、大きな不安がありました。今回のようなハイブリッド・クラウド構成に移行、運用してみることで、まずクラウド環境の運用に慣れ、チューニングによる性能向上などのクラウド移行のメリットを実感しながら、クラウド上での基幹システムの安定稼働を確認することができ、不安が解消されました。また、自社主導で移行を行ったことで、今後予定している『Oracle Exadata Cloud Service』への移行を含め、適切な形でクラウド活用を推進していくことができます。」

パーソルキャリア株式会社 インフラ基盤統括部 システム共通 BITA 部 IT 基盤グループ シニアコンサルタント
佐藤 隆一 氏

参考リンク

- [パーソルキャリア](#)
- [Oracle Exadata Cloud@Customer](#)
- [Oracle Exadata Cloud Service](#)
- [Oracle Cloud Infrastructure](#)

日本オラクルについて

私たちのミッションは、人々が新たな方法でデータを理解し、本質を見極め、無限の可能性を解き放てるよう支援していくことです。データ・ドリブンなアプローチにより情報価値を最大化するクラウド・サービス、それらの利用を支援する各種サービスを提供しています。オラクル・コーポレーションの日本法人。2000 年に東証一部上場（証券コード：4716）。URL www.oracle.com/jp

オラクルについて

オラクルは、広範かつ統合されたアプリケーション群に加え、セキュリティを備えた自律型のインフラストラクチャを Oracle Cloud として提供しています。オラクル（NYSE:ORCL）に関するより詳細な情報については、www.oracle.com をご覧ください。

アシストについて

アシストは、特定のハードウェア・メーカーやソフトウェア・ベンダーに偏らない、幅広いパッケージ・ソフトウェアを取り扱う会社です。複数のソフトウェアと支援サービスにアシストのノウハウを組み合わせ、企業の情報システムを情報活用、運用、データベースを

中心に、近年ではクライアント仮想化やビジネスルール管理、データ・プレパレーション分野も拡充し支援しています。2018 年から、さらなる顧客志向を目指した「超サポート愉快カンパニー」をビジョンとし、アシストの強みを生かした付加価値の最大化を図っています。

【本件に関するお問い合わせ先】

日本オラクル株式会社 広報室 石山

Tel: 03-6834-3238/E-mail: pr-room_jp@oracle.com

プレスルーム <https://www.oracle.com/jp/corporate/press/index.html>

株式会社アシスト 広報担当 田口

Tel: 03-5276-5850/E-mail: press@ashisuto.co.jp

問い合わせ URL <https://www.ashisuto.co.jp/contact/press/>

* Oracle、Java 及び MySQL は、Oracle Corporation、その子会社及び関連会社の米国及びその他の国における登録商標です。文中の社名、商品名等は各社の商標または登録商標である場合があります。本文書は情報提供を唯一の目的とするものであり、いかなる契約にも組み込むことはできません。